

令和7年度

東明小だより

令和7年6月23日
第4号



学校運営協議会を行いました



校長 中嶋 聡子

6月19日、学校運営協議会を行いました。学校運営協議会というのは学校教職員と地域住民の代表者、保護者の代表者が集まって、地域ぐるみで、どのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「**地域とともにある学校**」を目指していく仕組みです。

この学校運営協議会が設置されている学校のことを、コミュニティ・スクールと呼びます。

今年度、学校運営協議会の委員は、以下の役職の方をお願いをしています。



- ・学校歯科医
- ・久々利自治連合前会長
- ・民生児童委員長
- ・平牧自治連合会長
- ・久々利自治連合会長
- ・平牧地区センター長
- ・久々利地区センター長
- ・主任児童委員、交通指導員
- ・令和7年度PTA会長

※よろしくお願いします。

委員の皆様は、子どもたちの授業の様子を見ていただき、学校運営に関して次のようなアドバイスをいただきました。

- 文字を書くときの姿勢がよくなった。鉛筆の持ち方が、学年が上がるにつれて崩れていってしまうので、しっかりと身に付けてほしい。
- あいさつをすると、大きな声で返してくれる子がいてうれしい。
- 掲示物をみると、子どもの個性が大切にされていると思う。
- 子どもたちが落ち着いていると思う。また、雨が降っても歩いて登校できる子が多くてよいと思う。
- 6年生から1年生を順番にみていくと、高学年ほど成長を感じることができた。
- 机の上にノートや教科書、筆箱を置くと机の面積が狭いのではないかと感じた。
- 空き教室の活用を工夫するとよいのではないか。
- 地区ごとに資源回収をする方法に変更したが、ありがたいと思っている。

今後は、さらに「安全に関すること」「学習に関すること」「環境に関すること」の3つの視点から、子どもたちの生活や学校経営について、ご意見やアドバイスをいただいています。東明小学校は、これまでも地域の皆様から支えられ、見守られている学校です。そういった意味では、すでに「**地域とともにある学校**」であると言えます。